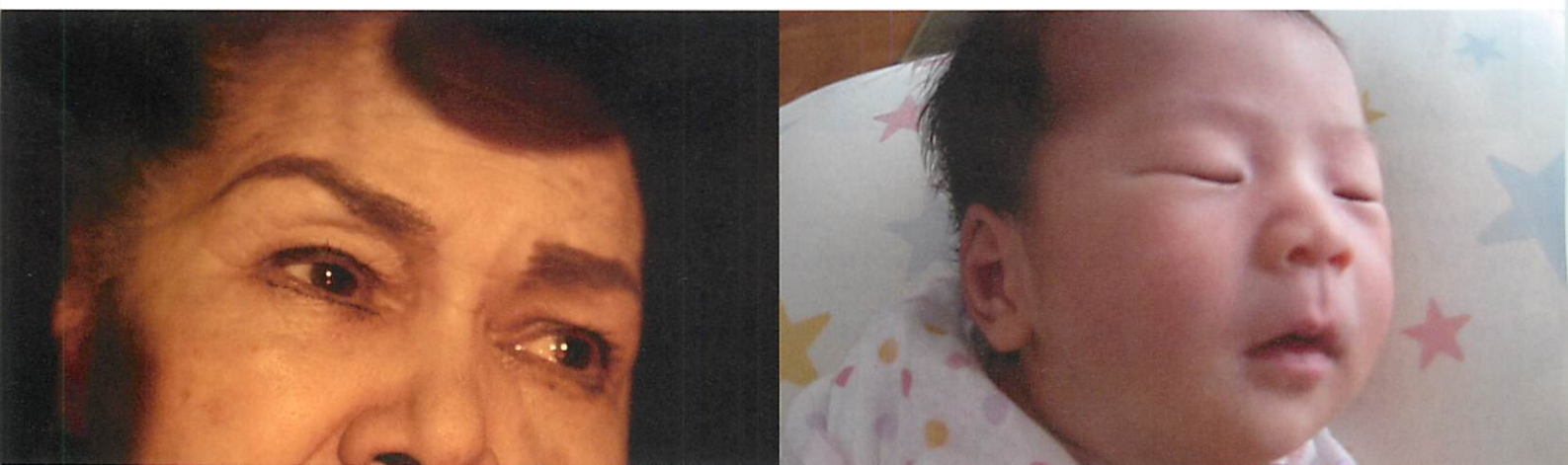


美
し
け
れ
ば

美
し
い
ほ
ど

The more beautiful it becomes



2017年2月7日（火）－ 4月9日（日）

原爆の図 丸木美術館

嘉手苺志朗 / 川田淳

〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401

開館時間：9時～17時（2月中は9時半～16時半）

休館日：月曜（祝日の場合は翌日）

入館料：大人900円 18歳未満または中高生600円 小学生400円

協力：佐喜眞美術館・Barrack・西尾祐馬・木村奈緒

企画：居原田遥

*本展では上映時間を指定し、途中入場不可の作品がございます。上映開始時刻についてはWEBサイトにてご確認下さい。

原爆の図 丸木美術館 WEBサイト：<http://www.aya.or.jp/~marukimsn/kikaku/2017/okinawa.html>

沖縄の風景が美しければ美しいほど、やさしければやさしいほど、沖縄戦の惨劇は胸をえぐる。

『おきなわ しまのこえ』丸木俊のテキストより

本展は、現在の沖縄の状況をそれぞれの観点から伝える
展覧会です。

はじめて丸木夫妻の絵を目にしたのは、私がまだ小学生
の頃。その絵とは、沖縄県の佐喜真美術館にある《沖縄戦
の図》です。描かれているのは、丸木夫妻が想像した沖縄
戦。美しかったはずの沖縄が泥と血にまみれ、死体と暴
力で埋め尽くされた様子です。幼い頃から私は何度もこの
絵を見たことがありますが、この《沖縄戦の図》を目にす
るたびに、経験していないはずの沖縄戦に強い恐怖を抱か
ずにはいられない。丸木夫妻がこの絵を描いたことで成し
得た「沖縄戦を伝える行為」とは、今日まで引き継がれるべき
だと強く思います。

さて、彼らが《沖縄戦の図》を描いてから三十年あまり
が過ぎた現在。今日の沖縄の状況を伝える情報が、人々に
きちんと届き、そして受容されているとは思えません。沖
縄県北部に位置する高江ではヘリパッド基地の建設が強行
され、辺野古では海上基地の建設が進行しています。反対の
声をあげる人々に対し、時に国は暴力をふるい、排除を強い
ます。この状況が全国報道で映し出されることは殆どあり
ません。

沖縄の風景は今でも、あるいは現在だからこそ優しく、そ
して美しく見えるのだと私は思います。それは、かつての
丸木夫妻が目にし、耳にした沖縄から、どのように変容し
たのでしょうか。今日ここから、私たちは沖縄の何を見て、
何を聞き、伝えることができるのでしょうか。

居原田遥



シ、死に掛い、や、やていん、りっぱ、ピトウどうやたしが

《彼らの声》 2015, single channel HD video, 9'57"

嘉手苺志朗 Shiro KADEKARU

1985年沖縄県生まれ。2014年沖縄県立芸術大学大学院絵画専修修了。近年では歌や既存の小説をモチーフにして、自身の出身地でもある沖縄を背景に虚構的な映像を制作。主に「群馬青年ビエンナーレ2015」（群馬県立近代美術館、2015年）、「社会と芸術」（浦添市美術館、2015年）「VOCA展2016」（上野の森美術館、2016年）、the 5th Taiwan International Video Art Exhibition（鳳甲美術館、2016年）などに参加。

企画者略歴

居原田遥 Haruka IHARADA

1991年沖縄県生まれ。2014年東京芸術大学音楽文化学専攻修了。沖縄をはじめ、アジア圏の芸術運動、オルタナティブ・カルチャーを関心の軸とし、企画や展覧会などを行う。主な活動に、「doubles2間（のめ）」（WAITINGROOM、東京都、2016年）キュレーション、ドキュメンタリー映画《Constellation》（中森圭二郎監督、2016年）共同制作。

アクセス

- 東武東上線 森林公園駅
南口よりタクシー10分、徒歩50分
- 東武東上線 東松山駅
市内循環バス唐子コース（日祝運休）
浄空院入口 / 丸木美術館北下車
- 東武東上線 つきのわ駅
南口より徒歩30分

バス時刻表

▼市内循環バス唐子コース
丸木美術館行き
08:05 東松山駅東口→08:22 浄空院入口
11:12 東松山駅東口→11:29 浄空院入口
12:07 高坂駅西口→12:25 丸木美術館北
13:12 東松山駅東口→13:29 浄空院入口
15:22 高坂駅西口→15:40 丸木美術館北
※帰りの時刻はお問い合わせ下さい。
日祝日は運行していません



《終わらない過去》 2015, single channel HD video, 71'41"

川田淳 Jun KAWADA

1983年埼玉県生まれ。2007年武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。IKEAでゲリラ的に作品を制作し発表するものや、マクドナルドで何も注文せずに店員をただ60秒間見つめる作品等、自身の行為を記録したものを主に映像作品として発表。主な個展に「終わらない過去」（東京都、2015年）。近年では他に「DMZ Pilgrimage」（South Korea DMZ Piece-Life Hill、韓国、2015年）などに参加。

シンポジウム

「沖縄の情報は本当に伝えられていないのか」

日時：2017年3月26日（日曜） 15:00-17:00

予約不要・無料（入館料別途）

登壇者：伊藤守（メディア研究/早稲田大学教授）

津田大介（ジャーナリスト/メディア・アクティビスト）

毛利嘉孝（社会学/東京芸術大学教授）

モデレーター：木村奈緒（フリーライター）

実施協力：早稲田大学メディアシティズンシップ研究所

*会期中には他にもイベントを開催する予定です。

詳細は決まり次第、丸木美術館WEBサイトでお知らせします。

このチラシをご持参で来館料が100円引きになります